

鳥取県への政策提案



とっとり若者活躍局

令和6年10月27日

1. 移住・定住、関係人口創出 に関する提案

I 移住・定住

<主要提案>

(1) ふるさと鳥取アプリ「とりふる」の利用促進

「とりふる」の利用者数・DM 開封率が低く、学生に情報を届けられていないため、高校卒業・大学入学時やはたちのつどいでの PR や保護者向けの登録促進など登録機会の増加、就活にまだ関心がない学生にも響く情報掲載、ログインポイント制の導入により、「とりふる」の利用を促進する。

(2) 産学官連携による若者定着・人材育成

県内大学における県内就職率や県外大学に進学した学生の U ターン率が低いため、高校生の頃から県内の大学や企業等を知るきっかけづくりの場として、県内で学ぶ若者(高校生・大学生等)と大人(企業等)が一同に集まる見学・体験型の交流会を開催する。

(3) U ターンコンシェルジュの創設

鳥取県は移住顕在層への支援策は多いが、移住潜在層へのアプローチが弱いと考えられるため、移住潜在層である都市部在住の鳥取県にルーツのある者(鳥取県出身者、県内大学卒業生)をサポートする「U ターンコンシェルジュ」を創設する。

(4) 空き家対策の促進

県内市町村の空き家バンクの登録件数が少なく、中でも賃貸物件は少なく、移住希望者との需給のミスマッチが生じているため、空き家を賃貸用に取得する事業者への補助など市町村への補助制度を拡充する。

- 移住定住促進や関係人口増加を目的とした様々な交通手段を対象とした移動費支援制度があまり知られていないので、必要な人に求められる情報が届くようにする。
- 県内各地に移住支援団体があるが、移住者に知られておらず移住後のサポートが不十分な点もあるので、移住者に支援団体情報が行き届くよう移住支援団体の情報誌を作成する。
- 若者が県内で自分に合った仕事を見つけられず、県外に就職している状況にあるため、県内企業の職業体験や企業見学の感想が掲載されたまとめサイトをつくる。
- 空き家の利活用を推進するため、空き家だけでなく隣接地や道路等と一体として空き家除去後の土地活用を検討するランドバンク事業を推進する。

II 関係人口創出

<主要提案>

(1) 若者に響く情報発信！ YouTube ショートの強化等

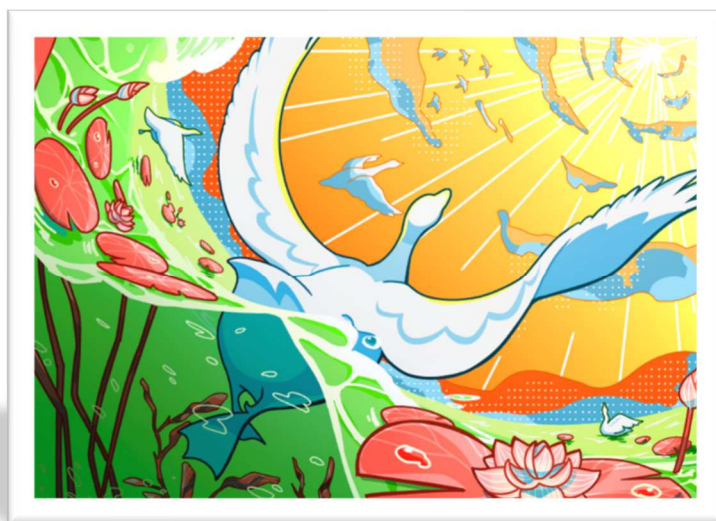
鳥取県では様々なサイトやSNS等で情報発信しているが、若者が見ないツールだったり、動画が長かったりして若者に情報が届いていないため、若者がよく利用する YouTube ショート^(※)の活用や、長尺動画でもエンタメ要素の重視など最後まで見る工夫をして、鳥取県の魅力を情報発信する。

(※)60秒以内のショート動画

(2) バーチャルとつとりの有効活用

バーチャルとつとりの中に、県内クリエイターの作品を展示するバーチャル美術館をつくり、県立美術館と連携して、関係人口のきっかけづくりの場とする。

- TikTok や Instagram の鳥取の動画コンテンツが他県に比べて少ないため、県内で動画発信者を育成して鳥取の魅力を発信することで、県外者の目にとまる機会を増やし、観光客誘致に繋げる。



とつとり若者活躍局のメインビジュアル (R5 作成)

2. 子育て・教育 に関する提案

I 子育て

<主要提案>

(1) 子育て王国とっとりアプリの改修

アプリの使用率が低く、また、ニーズに合った子育て情報が届いていないため、SNS のように気軽に楽しく見られるよう掲載内容を工夫したり、新たな機能を追加するなど、子育て王国とっとりアプリの改修を行う。

(2) 子育て応援パスポートの対象拡大

子育て応援パスポートの支給対象は同一世帯のみとなっているが、別居している祖父母に拡大することで、孫育て世帯のサポートを増やし、子育て世帯の負担を軽減する。

(3) 「鳥取のおばあちゃん家」の開設

子どもが長期休み中に過ごす場所が少ないため、公民館などを活用し、地域の高齢者等が遊びを教えたり、大学生が勉強を教えたりできるような子どもの居場所づくりを推進する。

- 子どもを遊ばせられる屋内施設が少ないため、天候を気にせずに遊べられる施設を増やす。
- 子育て世帯の金銭面での不安を軽減するため、妊婦検診や子どもの医療費、保育料、授業料、給食費など様々なフェーズでの手厚い支援を行う。

II 教育

<主要提案>

(1) ふるさとキャリア教育の一層の充実

ふるさとキャリア教育は各学校で内容や充実度にバラつきがあり、先生方は多忙のため、学んだことを県内の学校間で共有する場でもある「ふるさとキャリア教育フェスティバル」の開催方法や内容等を工夫・充実させる。

(2) Study Cafe (スタディ カフェ)の開設

駅周辺に学生が気軽に集まって勉強しながら過ごせる交流スペースがないため、駅周辺の空き家・既存施設等を活用して、JR やバスの待ち時間などに高校生等の若者が自由に勉強できる居場所をつくる。

- 中山間地域の子どもの通塾負担を減らすため、塾のない地域に住む小中学生が気楽に来て無料で勉強できる機会を提供する。
- 子どもたちが鳥取県に対してネガティブな印象を持っているため、幼い頃から楽しみながら鳥取のことを知ることができる様々な体験機会をもっと提供する。

3. 持続可能な地域づくり に関する提案

I 誰ひとり取り残さない地域づくり

<主要提案>

(1) バリアフリーな社会を目指して！ 若者向けあいサポート運動の普及促進

小学校ではあいサポート運動の啓発が進んでいるが、進学するにつれて認識が希薄化している現状があるため、県内大学生へのあいサポート運動の認知度を向上させるため、障がいのある若者と県内大学生等との交流会を開催する。

(2) 障がい者の「はたらく」選択肢を増やす ～起業の選択肢をすべての人に～

障がいの有無に関わらず、すべての人に起業の選択肢があることを、ロールモデルの提示や啓発活動等を行って広めていき、障がいのある方の「はたらく」選択肢を増やす。

- 運転免許返納後の支援は市町村ごとに異なり、高齢者は免許返納後の生活に不安を抱えているため、免許返納の相談や返納後の定期券・タクシーチケットの購入手続き等の支援を行う体制を充実させる。

II 地域活性化

<主要提案>

(1) 若者の投票率向上

若者が主権者として主体的に政治参加する認識が不足しているため、若者の投票率向上を目的とする学生プラットフォームの創設や若者による選挙啓発など、若者の政治参画等を後押しする取組を推進する。

(2) 学生×地域活動のマッチング向上

中山間地域等の活性化を図るため、若者と地域を繋げるサイトを創設して、地域で活動したい若者と若者のアイデアや行動力がほしい地域とのマッチングを行い、交流機会を創出する。

- 商店街の空き店舗出店は根付かないことが多々あるため、地元商店街や創業支援者とつながって、出店前の相談や実地調査のサポート、出店後の経営指南等を行う「コミュニティメンター」を創設する。
- 自家用車に偏った交通体系を是正するため、市街地の多様な魅力と連携した公共交通利用の情報発信やJRの増便やチケットレス予約時の現金支払可能化の働きかけにより、公共交通利用を促進する。